

パンタナール通信

一般社団法人南北米福地開発協会 会報 2014年5月1日 128号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



パラグアイのVIPを前に、レダ開拓の紹介をする佐野氏。（アスンシオン市内のホテルにて）

二〇一四年四月一日、首都アスンシオンのホテルで、八十名からの有識者の参加を得て、VIP研修会が行われました。これは、四月二十五日にレダ基地において、第二回パクー稚魚放流式典が予定（折り込みの速報参照）されていますが、より多くのVIPに参加していただくための一助として行われました。

私たちは、レダ開拓の歩みとチャコ地方の貧しい先住民の村に、教育支援及び自然環境保護を推進してきました。こうした活動の一環として、魚の養殖研究に着手し、増殖法や養殖法を開発してきました。アスンシオン大学の協力のもと、パクーの人工孵化を二〇一二年暮れに成功させ、チャコ地方では初のパクー稚魚放流を、昨年五月三日に現職のフランコ大統領（当時）一行四十名を迎えて行いました。この反響はアルト・パラグアイ地域と国家に大きく広がり、今年も是非行おうと、再度孵化を成功させ、準備をしてきました。

今回のVIP研修会では、佐野氏が一時間にわたりパワーポイントを使ってわかり易くレダ基地とその活動を紹介しました。参加者全員が感動の中に強い関心を示し、放流式に向けて機運の盛り上がったプレゼンテーションとなりました。

当会が法人化しました

当会は二〇一四年四月一日をもって、「一般社団法人 南北米福地開発協会」として登記が完了しました。理事長は飯野貞夫氏。定款はホームページに公告されます。事務局の住所、電話、FAX、Eメールも従来のまま継続します。

パラグアイでVIP研修会開催

稚魚放流式典の準備中

第二回パクー稚魚放流式典には、相当なVIPが参加する予定です。今は雨で陸路が使えないので、復活祭で定期船も運休のため、人や資材を運ぶのにも、さまざまな困難があります。

レダ基地では

店が全く無い場所ですから、コップやタオルのようなものまで、全て調べてアセンションに購入を頼んでいます。接待・宿泊などの受け入れ態勢も、いろいろな方面に協力をお願いしています。言語も日本語、スペイン語、韓国語、グアラニーリ語と国際色豊かで、通訳が貴重です。

ともかく天候に恵まれることが第一です。必ず成功する確信を持って準備を進めています。（四月十六日、飯野記）



豪雨によって一時中断されていた、新しい養殖池の造成工事が、天候の回復とともに再開しました。同時に排水作業をしながら進める、とても骨の折れる作業です。



木工用工作機や土木重機類の置かれた格納庫にて水落氏。



本職でもある木工作業に取り組む水落氏。



大和田氏から、水道水作りの教習を受ける水落氏と堀本氏。



手製の燻製器を用いて、豚肉の燻製に取り組む堀本氏。

パンタナール研修会の案内

(第四回)一日特別研修会

新緑のさわやかな季節、下記の内容のパンタナール研修会を開催いたします。

レダ基地における南米パンタナールの開発は十五年目の半ばに来てます。幸い多くの方々

から支援をいただき、植樹、青年ボランティア派遣、先住民の村における学校建設、またレダ基地における養殖などを通し、「バラグアイの国からも高く評価を受けてきました。

昨年五月のパクー稚魚放流式典（左の写真）

では、現職大統領ご一行をお迎えし、実体的に環境保全の道を開き、多くの人々に感動と希望を与えました。正にRevムーンの「人のために生きる精神」の実践であり、生きた証です。



皆様、今回の一日研修会を通して「世界平和地球村の建設理想」や「地球環境問題」を見つめ直してみませんか。きっと皆様にとつて喜びの出発の日となるでしょう。皆様の積極的なご参加を、心からお待ちしております。

☆開催日＝二〇一四年五月一八日（日）

☆プログラム

十時 受付開始（二階ホール）十時三十分 開会

ビデオ上映に続き、講義①「創設者の思想とレダの歩み」飯野貞夫先生

十二時 昼食

十三時 講義②「ここまで進んだ地球環境問題」高津啓洋先生（パンタナール地域の環境保全）

十五時 講義③「奉仕活動が国を動かす」柴沼邦彦先生

十六時三十分 質疑応答 十七時 閉会

☆開催場所＝大山街道ふるさと館 二階研修室
神奈川県川崎市高津区溝口二一一三一三
(当会事務局前)

☆交通＝電車 JR南武線武藏溝ノ口駅下車＝北口徒歩7分、または東急田園都市線溝の口駅下車＝正面口徒歩7分、高津駅下車＝西口徒歩5分

☆参加費＝2000円（昼食付き）（当日受付にてお支払いください）

☆申込締切＝五月十五日（昼食の準備のため）

☆参加申込＝参加申込用紙に必要事項を記入して下記申込連絡先にFAXしてください。

☆主催＝ピースソサイアティ

☆共催＝一般社団法人南北米福地開発協会
☆申込み連絡先＝一般社団法人南北米福地開発協会 電話＝044-829-2821 FAX＝044-829-2820

第二回環境問題勉強会を開催

四月五日、第二回環境問題勉強会を行いました。会場は先回と同じ、川崎市の高津市民館です。今回は、山岡先生が初めに一時間講話をし、その後、一時間半ほど参加者全員で熱心に意見交換をしました。

講話は、「統一思想による新しい環境史の試み」と題した、アカデミックな内容と構成でした。

山岡先生の環境問題に対する深くて濃い研究内容に啓発された参加者たちは、次回以降も続けて参加したいと感想を述べていました。

特に今回の環境問題勉強会は、ちょうど南北米福地開発協会が一般社団法人として出帆するときであり、時宜に適ったとてもよい企画でした。次回は五月十日です。皆様ご参加ください。



パラグアイ(南米)の僻地へのボランティアのため、支援をお願いします

支援金だけでなく、使用していない切手、はがき、図書券等を集めています。(南北米の事務所にお送りください)



第14回国際協力青年ボランティア隊員募集

期 間：2014年8月25日（月）～9月10日（水）

8／24（日）：オリエンテーション・研修を行います。8／25成田発

活動場所：パラグアイ、パンタナール地域

活動内容：サン カルロス村で学校の建設と共同植樹活動及び文化交流、
レダにて奉仕活動、自然探訪、学習会、乗馬、釣り体験

参加資格：18歳以上25歳まで（原則として）（健康に自信のある男女）

参加条件 ①小論文（400字以内）提出 テーマ：「参加の動機及び将来の夢」提出期限：6/30

提出先：南北米福地開発協会（FAX、Emailも可）②小論文に各紹介者の推薦文を添付すること。
(書類は事務局にありますのでご連絡ください。) 合格発表：7月5日 直接該当者に連絡致します。

募集人数：10名（日本から） アメリカ、南米から各数名ずつ。

参加費用：15万円 成田—アスンシオン往復航空チケット代は主催者が支援いたします。
(小遣い、家から成田までの往復費用などは個人負担)

申し込み及び問い合わせ先：南北米福地開発協会事務局 担当：柴沼まで

TEL：044-829-2821 FAX：044-829-2820 Email：office@asd-nsa.jp

一般社団法人
南北米福地開発協会事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話 044-829-2821

FAX 044-829-2820

会費納入 郵便口座

10180-77680471

Eメール： office@asd-nsa.jp

ホームページ： <http://www.asd-nsa.jp>

地球家族として、自然を守りましょう

一般社団法人 南北米福地開発協会会員募集中

南米、パラグアイ・パンタナール地域へのエコツアー、ならびに植林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。会費は月500円です。

毎月、パンタナール通信をお送りいたします。また、各種のセミナー、エコツアー等へのご案内をいたします。